

## パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	なかのアクション・福島子ども保養プロジェクト
支援対象者・エリア	福島県福島市・いわき市の中学生
企画開催地	東京都あきる野市・千葉県南房総市
企画名称	どんぐりキャンプ ※2019年度活動した夏企画の報告書
実施期間	2019年7月28日～31日 ※助成申請の2020年3月31日～4月3日は中止

## 支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

2011年3月18日から中野の仲間と東北被災地支援を始めました。（団体名：東北支援なかの）当初は物資を運ぶを中心とし、トラックで5回ほど支援物資を運びましたが、その後、放射能に関すること、「原発の無い社会を」ということをテーマに連続講演会を開催。（団体名：なかのアクション）その中で、福島に寄り添っていくことを決め、次に実施することを「子どもたちの保養キャンプ」としました。2012年春から保養キャンプを始めることを決め、活動を始めました。（団体名：なかのアクション・福島子ども保養プロジェクト）

南房総市の千倉に住む友人たちに声をかけたところ、一緒に取り組んでくれることになり、「結の会・南房総」が立ち上がり、南房総市で2012年から春休みと夏休みにキャンプを実施しています。今まで16回のキャンプを南房総とあきる野で実施してきました。

1回のキャンプで30人余り、総計480人ほどの子どもたちがキャンプに参加しています。

子どもたちの健康を考え、少しでも自然の中で自由に遊べること、そして心のリフレッシュも大事にしてきました。子どもたちだけで参加するので、安心して参加できるように、いわき・福島での説明会を欠かさず開催しています。

また、年に1度、トークライブを企画、福島のことを忘れないために、福島の現状を東京のみなさんにも知らせることを目的として講演会を実施してきました。その中で、キャンプの報告もしています。

## 活動の様子（写真など）

古民家での生活



川の流れで遊ぶ



出し物の相談



セミのふ化の観察

ドラム缶風呂、あつたかい

